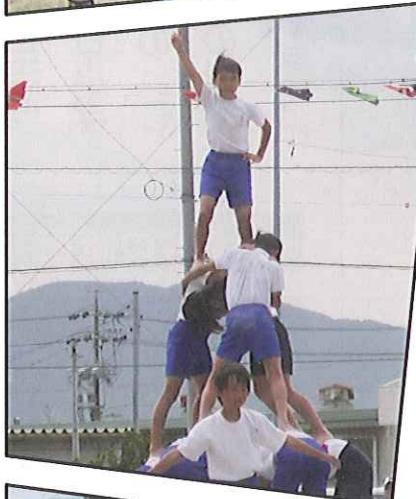
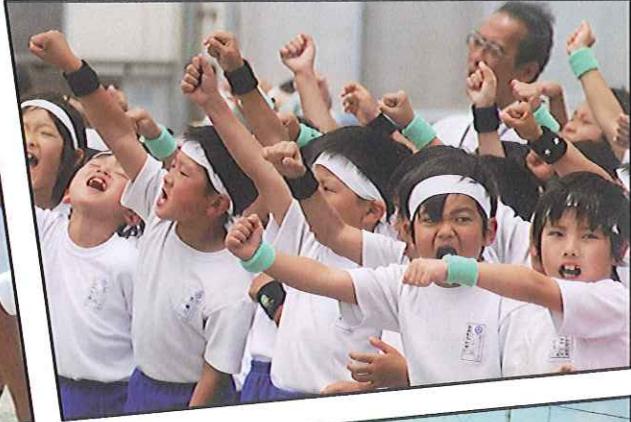




# こだま

発行日 平成26年10月5日  
発 行 大谷小学校PTA  
編 集 PTA広報委員会  
題 字 校長 松村 隆年  
表 紙 平成26年度運動会



知つてないようで意外と知らない、子どもたちの学校生活。

創立140周年の節目の年に校長先生も替わり、大谷小学校は、ここからまた新たな歴史を歩み始めます。今回の『こだま』では、「学校」にスポットを当て、子どもたちの日々の暮らしや学びの環境について、お伝えしたいと思います。

あなたは、お子さんたちが学校でどのようない日を過ごしているか、ご存知ですか? 学年によりて、どんな日課になっているか、ご存知ですか? 「意外と知らないかも…」という方、多いのではないでしょうか? そこで今回は、子どもたちの小学校での一日を追ってみました。これを機に、お子さんに学校での生活を聞いてみてはいかがですか?

帰りの会では、一日の出来事を振り返ります。  
みんな、今日も一日  
お疲れ様でした。

木曜日は  
清掃がなくて、  
ロング昼休みです。

13:10 13:35 13:40 13:55



## 第1号の紙面



子どもたちのタイムスケジュール  
ママさん刑事(?)が授業に潜入捜査  
【放課後活動特集】委員会クイズ  
「たて割り班活動」をご存知ですか?  
松村新校長が意気込みを語ります  
B 4  
B 6  
B 7  
B 4  
B 2

### 気になる? 子どもの学校生活

「朝、家を出て行く時間は知っているけど、帰りは何時に帰ってきていいかは分からない」「4月になつて学年が変わった途端、帰ってくる時間が急激に遅くなつたから、初めはとても心配した」…あなたも同じような

### 学年ごとの帰宅時間

- 〈1年生〉  
月・火曜日は4時間授業で、下校時刻は14:15頃です。
- 〈2年生〉  
月曜日のみ4時間授業。それ以外は5時間授業です。
- 〈3年生〉  
毎日5時間授業なので、下校時刻は15:00頃です。
- 〈4~6年生〉  
火・木曜日は6時間授業で、下校時刻は16:10頃です。  
クラブ活動は4年生、委員会活動は5年生から始まります。



# 大谷小学校の



チャイムが鳴つたら  
教室に入ります。



8:10 8:15 8:30 8:40

9:25 9:35

10:20 10:35 10:40

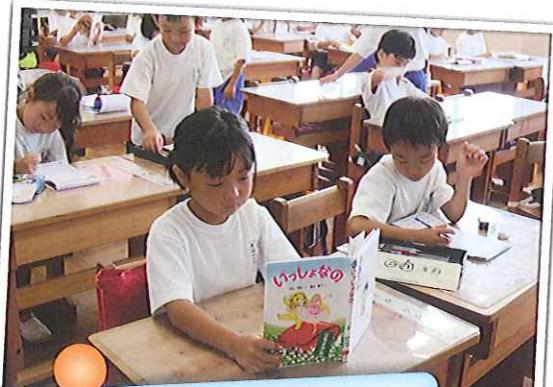
11:25 11:35

12:20

13:10



国語や算数の授業を15分間行います。水曜日は読書です。また、行事などが近い時には、行事の練習時間に充てます。



## ～知つてましたか？チャイムの秘密～

大谷小学校では、チャイムが鳴る時間と鳴らない時間があることを、ご存知でしたか？チャイムが鳴らないのには、理由があります。それは、

**“子どもたち自身で考えて、行動する力を身につけるため”**

家庭で子どもたちに、「チャイムが鳴るのはいつなの？」  
「○時間目は何時からなの？」etc. 是非とも質問してみて下さいね。きっと正しい時間を、答えられると思いますよ。

休み時間はみんな元気いっぱい！！  
お天気が良い日は仲良く外で遊びます。

でも、ご安心下さい。一日の流れが見えてれば、もう心配しなくても大丈夫ですよ。上の図は、登校から下校までのタイムスケジュールを表しています。こうやって見てみると、子どもたちは学校へ行っている間に、たくさん学び、たくさん遊び、そして様々な行事や活動を通して、成長という名の階段を歩二歩駆け上がっています。それが分かりますよね。知らぬ間に、どんどんたくさんくなっているんですね。

ことを思つたこと、ありませんか？それもそのはず。授業が終わる時間は、学年によって、あるいは曜日によつて異なりますから。

知っているようで、なかなか知らない子どもたちの授業の実態。あなたは今、大谷小学校でどんな授業が行われているか、ご存知ですか？親の世代と子どもの世代だと、「同じ科目でも内容が大きく変わっている！」なんてこともしばしば…。そこで今回、広報委員のママたちが、子どもたちの授業に潜入検査をしてきました!!

### 音楽科 プロから学ぶ！ 鍵盤ハーモニカ講習会



つい数ヶ月前まで、保育園や幼稚園に通っていた一年生にとって、学校での授業は全てが初体験。中でも、鍵盤ハーモニカの演奏を学習する音楽の授業では、通常の授業に加え、外部から講師を招いた講習会が開かれることもあるため、とても刺激のある授業と言えるのではないでしょう。

講師は、駿河区国吉田で様々な楽器の音楽教室を開いている「音楽舎」よりお招きした、新聞先生。その道の専門の方の知識や技術を活用して授業を開いていただくことで、子どもたちに少しでも音楽や楽器演奏に興味を持ったみたい。

つい数ヶ月前まで、保育園や幼稚園に通っていた一年生にとって、学校での授業は全てが初体験。中でも、鍵盤ハーモニカの演奏を学習する音楽の授業では、通常の授業に加え、外部から講師を

招いた講習会が開かれることも

が、この講習会の大きな目的です。音の出し方、お手入れの仕方まで、楽器の置き方から取り出しが、楽器の置き方から取り出しが、

45分の授業でたくさんのことなどを教えていただきました。この講習会を開くに当たり、新聞先生は、

吹く時の約束事やルールを理解

させるだけではなく、みんなで楽しく学習していくとする子どもたちの意欲を引き出すために、音楽教育のプロならではの工夫をしました。

新聞先生、わざわざお越し下

さい、ありがとうございました。一年生のみんなも、お疲れ様でした。一所懸命、よく頑張ったね！

子どもたちは、自分が育てている野菜には名前を付け、せっせと

声を掛けながら、お世話をしています。水やりでは、土の湿り具合で水の量を変えたり、鉢植えの野菜には葉にあまり水がかからないようにしたりするなど、お世話の仕方もひとつ工夫。植物を愛し、自分たちで育てている野菜を大切にする思いやりの心は、しっかりと育まれているようでした。

秋には、みんなで大切に育てたサツマイモを収穫し、スイートポテト作りにも挑戦する予定です。収穫する喜びと共に、美味しいお菓子を味わえるその日を、今から楽しみにしているそうです。

共生し、繋がつてじる」とに気付くこと。「共生」や「繋がり」というキーワードを意識することで、植物への親しみが深まり、そしてそれをいただく時の喜びや感動、更には感謝という豊かな心を育むことができます。



### 生活科 豊かな心を育む 野菜栽培の体験学習



小学校の授業の醍醐味の一つである体験学習。2年生の生活科の授業では、野菜を育てて収穫するという一連の流れを体験します。という訳で、雑草取りや水やりをしながら野菜のお世話をすることを、取材してきました。

この授業の目的は、野菜の育ちを学ぶことで、それぞれの命が



# 潜入捜査 最前線!! 実録 授業秘ポート



みんな、工「クッキング」の主旨をよく理解し、調理から後片付けまで、徹底して「工」を意識。人参は皮ごと調理する／キャベツの芯もスライスして使う／調理後の油は新聞紙で拭いてから少量の水で洗う／生ゴミ入れはチラシで作った箱を使うなど、家庭でも簡単にできる工「クッキング」にチャレンジしました。



5年生は、「えこのみ焼き」作りを行いました。子どもたちは5年生は「工」「野菜炒め」作りを、あさかぜ学級では「えこのみ焼き」作りを行いました。

みんな、工「クッキング」の主旨をよく理解し、調理から後片付けまで、徹底して「工」を意識。人参は皮ごと調理する／キャベツの芯もスライスして使う／調理後の油は新聞紙で拭いてから少量の水で洗う／生ゴミ入れはチラシで作った箱を使うなど、家庭でも簡単にできる工「クッキング」にチャレンジしているそうです。

そこで、早速取材してきました。「エネルギーを節約して、おいしい料理を作る」という、人にも地球環境にも優しい、まさに夢のような料理。この「フセフの下、5年生は「工」「野菜炒め」作りを、あさかぜ学級では「えこのみ焼き」作りを行いました。子どもたちはみんな、工「クッキング」の主旨をよく理解し、調理から後片付けまで、徹底して「工」を意識。人参は皮ごと調理する／キャベツの芯もスライスして使う／調理後の油は新聞紙で拭いてから少量の水で洗う／生ゴミ入れはチラシで作った箱を使うなど、家庭でも簡単にできる工「クッキング」にチャレンジしているそうです。

5年生は、毎年ここで学んだことを、井川自然体験教室でのエネルギー作りに生かしているようで、家庭科の授業や学校行事を通して、環境問題への意識を更に高めていよいよです。こうした意識付けが、一週性のものではなく、様々な行事や活動と連動して行われているという点が、学校教育の素晴らしさと言えるのではないかでしょうか。そして、時代の流れと共に、授業の主旨や内容も変化していくものであることを、今回この取材でとても強く感じました。

環境問題への意識が高まつたことで、「残さず食べることの大切さ」も再認識した子どもたち。これからも、有意義な食生活を送って欲しいと願っています。

5月、晴れれば水泳、雨なら体育館での授業に変更となるこの季節、5年生と6年生は、体育の授業の貫で、「新体力テスト」にチャレンジしました。

8種目に取り組み、その結果から出された測定値を、「体力向上のための指標」として自覚することを目的に行われる、この新体力テスト。運動が得意な子も、苦手な子も、他の誰と比べるのでなく、自分自身が今持っている力を最大限にして出すことに、そこに向けて頑張っていく中で、達成できて喜ぶ姿や、あと少し届かずには悔しがる姿など、普段の家庭ではなかなか見ることのない姿や表情を、垣間見ることができました。

5年生や6年生は、第二次成長期に差し掛かり、身体のつくりはもちろん、運動神経や自律神経も「完成形」に向かって加速し始める時期。運動する楽しさや、成長を実感する喜びも味わい、技能や体力の向上を目指すと共に、スポーツ活動を通して「仲間と協力する」「健康安全に注意する」「自分のベストを尽くす」といったメンタル面も、すくすくと育つていてくれればと思います。

5年生や6年生は、第二次成長期に差し掛かり、身体のつくりはもちろん、運動神経や自律神経も「完成形」に向かって加速し始める時期。運動する楽しさや、成長を実感する喜びも味わい、技能や体力の向上を目指すと共に、スポーツ活動を通して「仲間と協力する」「健康安全に注意する」「自分のベストを尽くす」といったメンタル面も、すくすくと育つていてくれればと思います。



5年生や6年生は、第二次成長期に差し掛かり、身体のつくりはもちろん、運動神経や自律神経も「完成形」に向かって加速し始める時期。運動する楽しさや、成長を実感する喜びも味わい、技能や体力の向上を目指すと共に、スポーツ活動を通して「仲間と協力する」「健康安全に注意する」「自分のベストを尽くす」といったメンタル面も、すくすくと育つていてくれればと思います。

5年生や6年生は、第二次成長期に差し掛かり、身体のつくりはもちろん、運動神経や自律神経も「完成形」に向かって加速し始める時期。運動する楽しさや、成長を実感する喜びも味わい、技能や体力の向上を目指すと共に、スポーツ活動を通して「仲間と協力する」「健康安全に注意する」「自分のベストを尽くす」といったメンタル面も、すくすくと育つていてくれればと思います。

**家庭科 時代は「工」で環境問題!?**

姿や表情を、垣間見ることがで

5年生・6年生になると、8つの委員会のいずれかに所属して、毎日みんなのために活動しています。写真とヒントを参考に、どれが何の委員会か、考えてみましょう!!

# クイズ 委員会活動

## 第①問



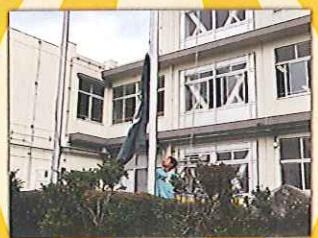
給食の時間に放送で、その日の献立をお知らせしたり、給食の片付けがスムーズに出来るようにお手伝いをするのが主な活動内容です。

## 第②問



休み時間に本の貸出し業務を行っています。また、みんなにたくさん本を読んでもらえるよう、放送でおすすめの本を紹介しています。

## 第③問



国旗掲揚にあいさつ運動、代表委員会の運営や各行事の企画運営をしています。自分たちで企画したことを実行出来ると、嬉しいです。

## 第④問



種を蒔いたり苗を植えたり、水やりや雑草取りをしたり…きれいな花を咲かせてくれるよう、メンバーみんなと協力し合っています。

## 第⑤問



毎朝の水質検査、トイレットペーパーや石けんの補充、歯磨きの呼び掛けと、みんなが清潔で安全な生活を送るために活動しています。

## 第⑥問



朝早く来て、器具室の掃除を行っています。みんなに運動の呼び掛けをしたり、鉄棒を頑張っている子を放送で紹介したりもしています。

## 第⑦問



みんなが楽しめる企画を考え、それを朝・昼・掃除時間に放送しています。「おもしろかったよ」と言ってもらえると、励みになります。

## 第⑧問



毎朝階段の掃除をして、学校内の美化と工コを広める活動を行っています。ベルマーク集めや、リサイクルボックスの回収もしています。

「あいさつ当番」と  
「大谷っ子遊び」を  
密着取材!!

実はこ～んなに大切!



# 「たて割り班活動」 ってなあに?

異学年とペアを組んで活動する「たて割り班活動」。

言葉としては知っていても、具体的な活動内容までは

知らないという方が案外多いのでは…? そこで今回は、たて割り班で行われている2つの活動に密着!!

上級生たちの頼もしい姿や、それを見習って成長していく下級生たちの姿が見られました。

児童会が中心になって活動している「あいさつ当番」。大谷小学校のスローガンである「大谷小はあいさつ自慢」にこにこ笑顔で楽しい大谷っ子を実現するための毎朝の取り組みです。

この「あいさつ当番」は6月からスタートし、毎朝7時40分から50分までの10分間、正門と高等学校の班長が、曜日ごとの担当者(当番)を決めます。班は各クラスに六班あるため、六週間に一度、当番が回ってきます。

下級生の子どもたちは、上級生のお兄さんお姉さんたちが大きな声で元気よくあいさつする姿を見習って、元気な声であいさつをしていました。通学して来る子どもたちには、上級生たちが大き

## Vo.1 楽しい学校づくりは元気なあいさつから★

「たて割り班」とは?

異学年との交流を通して、思いやりの心を育てるための「たて割り班活動」。年度初めになると、1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生の「ペア」と「たて割り班」が発表されます。班の数は、各クラス6班×2クラスの計12班。1班当たりの人数は約30人。



もたちも「おはようございます」と元気にあいさつし、中には立ち止まって、おじぎをする子も…。そこには確かに、「あいさつ自慢の大谷小」の姿がありました。

毎朝の「あいさつ当番」の活動を通して、あいさつすることの素晴らしさを感じ、明るく元気で楽しい学校づくりをやっていけたらいいですね。朝からうつむき元気をもらうことができました。

「大谷っ子遊び」は、たて割り班ごとに一年生から6年生までが一緒に、昼休みの時間に遊び活動です。この日は班ごとに、「おにごっこ」「笛おに」「氷おに」「しほ取り」「けいドロ」「ドッジボール」「へびじゃんけん」「田んぼの『田』」などで遊んでいました。これらの遊びの内容は、班長を中心におこなわれ、みんなが楽しく遊べて、しかも下級生が分かりやすいルールで遊べるように、上級生が工夫しているそうです。ペアのお兄さんお姉さんが迎えに来ると、満面の笑みで抱きつく子や、遊びの間中ずっと上級生の手を握って離さない子の姿もあります。下級生との関わり方を考えることができるようになつていて、ルールの説明をする時も、下級生が分かるように丁寧に説明していたことが印象的でした。

「たて割り班活動」の目的である「思いやりの心」は、しっかりと育てられていることを感じられた今回の取材でした。そして、ペアとなつた人が、固い絆でしっかりと繋がっているその姿は、見ていてとても素晴らしいものでした。



## Vo.2 ペアの間に固い絆 思いやりの大谷っ子



# 【巻末特集】校長先生にインタビュー!! 「たくましく、共に伸びる子」の実現に向けて

松村隆年新校長の思い描く“学びの環境作り”

## —— 大谷小の生徒たちの印象は?

明るく元気な子が多いと思ったのが第一です。そして、はじめて何でも一生懸命取り組もうとしている姿が印象的でした。

## —— 5月に行われた運動会の感想は?

学校のねらいとしては、第1ステージの「仲間作り」、これをメインに行いました。友達と力を合わせること、競い合うことで力を伸ばしていくこと、時間を守ること、そしてルールを守ることの大切さを知っていくこと…結果的に、かなりの接戦だったので、お互いに力を出し合えたのではないかと思います。団体競技においては、練習では失敗しても、本番で力を合わせて成功させられたことは、とてもよい経験になったのではないでしょうか。また、大玉送りの競技では、引き分けという判定ながら、お互い相手の頑張りを認め合う姿も見られ、とても盛り上がりました。運動会という一つの行事を通して、陰で5年生・6年生が各々の係をやりぬくために一生懸命動いてくれたことも含めて、第1ステージにふさわしい運動会になったのではないかと思います。

## —— 大谷小学校の校長先生として、どんなことに取り組んでいきたいですか?

『あさかぜプラン』(右記参照) の重点目

標である「たくましく、共に伸びる子」の実現のために、大事にしたいと思っていくことがあります。第一に、安心・安全。そして、心の優しさを大事にしたいと思います。学力については、良い所を目一杯伸ばしてあげたいです。

## —— それをするためには今、学校に何が求められていると思いますか?

子どもたち一人一人の考えを、大事にし

ていくことだと思います。正しくても間違っていても、意見や考えを出し合える授業、自分の思いを表現できる学校にしていきたいです。今年大谷小は140周年で、その記念に芝生を植えました。ここはいつも花がきれいですし、環境的にはとても恵まれています。きれいな環境をきれいに使っていけたら良いですよね。その中で、子どもたちも先生方も、きれいな心で共に学んでいけたらと思います。

## 平成26年度 大谷小あさかぜプラン

学校教育目標：学ぶ喜びをもち やりぬく子  
重 点 目 標：たくましく、共に伸びる子



地域・保護者・子どもに  
信頼される学校づくりのための  
教職員の4つの構え



### 1. あいさつ

- ・進んであいさつをする
- ・美しい日本語を使い、礼儀正しい行動をする。

### 2. 集合

- ・心を一つにして集まる
- ・5分前行動をする
- ・規律ある生活をする

### 3. 学び合い

- ・伝え合い、深め合う学習をする
- ・友達と力を合わせて学ぶ

### 6. 挑戦

- ・めあてを持って、いろいろなことに挑戦する。
- ・心身のたくましさを身に付ける

「仲間意識」を育てるための  
子どもと共に6つの取り組み

### 4. 体験

- 地域の人や、いろいろな人と  
交流する体験活動を計画し、  
より良い人間関係づくりを学ぶ。



保護者の皆さんや  
地域の皆さんとの連携



## 新任の先生方にも意気込みをインタビュー!!

### 6-2 新間 裕也 先生



クラスの友達だけでなく、様々な人と元気なあいさつができる子どもになって欲しいです。そのためには、まず大人が手本を示さなくてはなりません。私も毎朝、出会う一人一人にあいさつをしていきたいと思います。

### 5-1 山根 渉 先生



友達のよさを認め合える学級を目指します。一人では解決できない問題も、友達と力を合わせて解決できるような姿が理想です。

### 5-2 西野 千種 先生



一日一日を大切に、明るく素直でまっすぐな子どもたちと、共に成長していきたいです。

### 4-1 服部 修明 先生



仲間を大切にし、助け合う心が育つような環境を作っていきたいです。

### 事務員 田中 延融さん



「きれいな学校」の実現。古い物は整理し、新しい物を取り替えます。勉強しやすい環境整備に努めて参ります。

### 特別支援員 加藤 佳栄子 先生



児童の安全に配慮し、一人一人頑張っていることを認め、日々成長できるように子どもたちに寄り添っていきたいと思います。

### 特別支援員 山中 真佐子 先生



子どもたちが目標に向けて頑張れるように、先生の助言の上で、支援をしていきたいです。

### 学校司書 内田 由美子さん



学校図書館が、読書を通して学ぶ喜びを感じ、安心できる居場所となるよう、子どもたちとの関わりを大切にしていきたいと思います。